

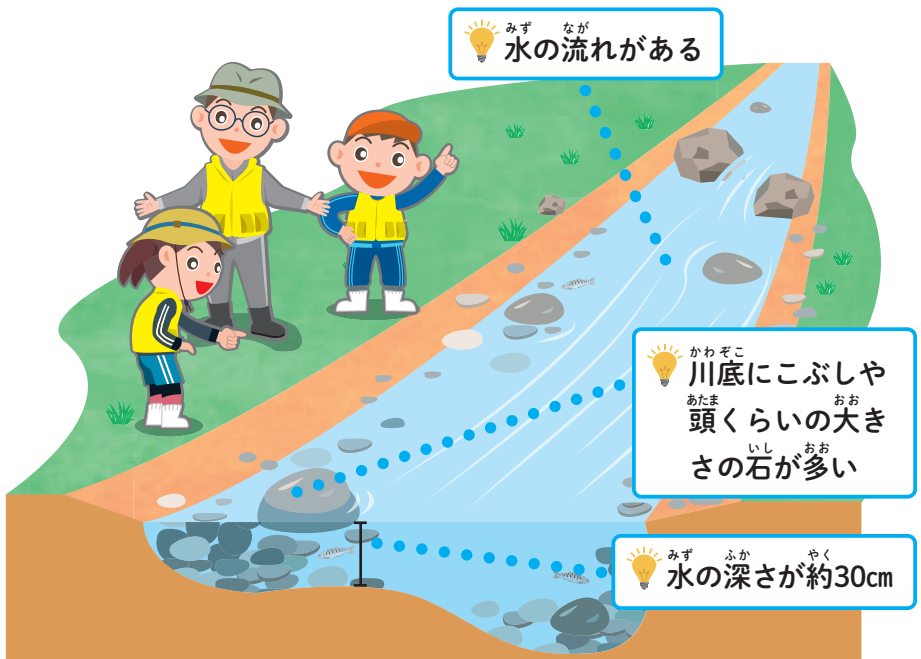
⑤ 川の中の生き物を調べる

かわ すんでいる さかな すいせいこんちゅう かわ かわぞこ すいしつ なが
川にすんでいる魚や水生昆虫は、その川の川底、水質や流
れなどの影響を受けて生活をしています。

かわ なか い もの しら すいしつ じょうきょう
川の中の生き物を調べることは、水質の状況のみをみるだけで
はなく、川の環境をみる上でも重要な手がかりとなります。

川に入る前に

しら 調べるのに適した場所 (P.2) を確認しましょう。



川の生き物を調べる

- ① 生き物をつかまえる場所の下流にたも網をおき、網の前にある「こぶしや頭くらいいしの石」を2,3個バケツいに入いれましょう。
- ② 石を取った場所を足でかきまぜて、流れてくる生き物をたも網で受けましょう。
- ③ 石についている虫むしやたも網あみでつかまえた生き物いものを、ピンセットいしを使って種類しゅるいごとに白しろいバットわなどに分わけましょう。
- ④ 種類しゅるいごとに分わけた生き物いものの数かずを数かぞえて、記録用紙きろくようし(P.22・23)に記入きにゆうしましょう。
- ⑤ 観察かんさつした生き物いものは、調査ちようさが終おわつたら川かわにもどしましょう。

調査のポイント

- 石いしのくぼみかくに隠かくれていたり、くっついていいる生き物いものもいまあります。
- 生き物いものが逃にげないようあるに、ゆっくあるりと歩あるきましょう。



さっぽろ かわ
札幌の川にすんで
 さかな
いる魚たち



はんれい ● 魚調査地点



- 1 スナヤツメ北方種 ほっぽうしゅ
- 2 カワヤツメ
- 3 コイ
- 4 ギンブナ
- 5 エゾウグイ
- 6 ウグイ属の一種 ぞく いっしゅ
- 7 モツゴ
- 8 ドジョウ
- 9 フクドジョウ
- 10 ヤマメ (サクラマス)
- 11 トミヨ属淡水型 ぞくたんすいがた
- 12 カンキョウカジカ
- 13 ハナカジカ
- 14 ウキゴリ
- 15 シマウキゴリ
- 16 サケ (シロサケ)

【資料】

みずべ かつどうてきせいでんちようまへいせいなんど
水辺の活動適性度調査(平成27年度)
すいせいせいまつせいそくちようまへいせいなんど
水生生物生息調査(平成30年度・令和元年度)など
※詳しくはホームページに掲載しています。

URL : https://www.city.sapporo.jp/kankyo/keikaku/mizu_kankyo/seisokutyousa.html



札幌の川にすんでいる魚たち



① スナヤツメほつぼうしゅ北方種

- 目の横のエラ穴が7つあることから、ヤツメと呼ばれている。
- 口はあごがなく、吸盤状。
- 成魚は餌を食べない。



② カワヤツメ

★レッドリスト掲載種けいまいしゅ（国、札幌市）くに さっぽろし



③ コイ★

- 口元にヒゲが2本生えている。
- 水草や昆虫などを食べる雑食性。



④ ギンブナ

- 口元にヒゲがない。
- 川の下流に多い。



⑤ エゾウグイ

- 上流から下流までさまざまな環境で見られる。
- 繁殖期には、オスとメスともに体に赤い線をもつ体色に変化する。



⑥ ウグイ属の一種



⑦ モツゴ★

- 口が小さく、顔が細い。
- 地方によってはクチボソと呼ばれている。
- 体側に一本の黒い線がある。



⑧ ドジョウ★

- 川底の泥の多い場所を好む。
- 口元にヒゲが10本生えている。
- 尾びれの先がまっすぐになっている。



⑨ フクドジョウ

- 砂や小石のある川底を好む。
- 口元にヒゲが6本生えている。
- 尾びれの先が丸くなっている。

★国内外来種：元々、札幌市内に生息しなかったが、国内の他の地域から持ち込まれた生物のこと。

★★国外外来種：海外から日本に持ち込まれた外来生物のこと。



⑩ ヤマメ (サクラマス)

★レッドリスト掲載種 (国、道、札幌市)

- 大きな楕円型の模様の特徴。
- 川に留まるタイプをヤマメ、海に下るタイプをサクラマスという。



⑪ トミヨ属淡水型

- 細身に尾びれの付け根のくびれが特徴。
- 背びれのトゲが8~12本生えている。
- オスは繁殖期には黒くなる。



⑫ カンキョウカジカ

- 大きな石のある川底にいる。
- 川底でじっとして、流れてきた虫を食べたりする。



⑬ ハナカジカ



⑭ ウキゴリ

- 尾びれの付け根がローマ字の“K”に見えるのがシマウキゴリ。
- 肉食性で水生昆虫やエビなどを食べる。



⑮ シマウキゴリ

時期によって見られる魚



⑯ サケ (シロサケ)

時期：成魚9~11月、稚魚3~6月 大きさ：65cm程度

- 川で生まれて海で育つ。
- 秋頃には産卵のため遡上する。
- 稚魚は春から夏にかけて集団で川を下る。

さつぼろ かわ さかな
札幌の川にすんでいる魚たち



● **エゾトミヨ**

★ **レッドリスト掲載種** (国、道、札幌市)

- 背びれにトゲが10～13本生えている。
- トミヨ属淡水型よりずんぐりしている。



● **ヌマガレイ**

- ヒラメのように目が左側にある。
- 塩分の変化に耐えて生活できる広塩性。



● **ニジマス** ★★

- 背びれに黒い斑点がある。
- 背側の黒い斑点がヤマメよりも多い。



● **スジエビ**

- 水深が浅く植物が生えているところにいる。
- 肉食で小魚も食べる。



● **モクスガニ**

- 川底や石のすきまを好む。
- はさみや脚には、藻のような柔らかい毛が生えている。



● **ツチガエル** ★

- 背中^{せなか}の細長い多数^{たすう}のイボ^{いぼ}が特徴。
- 後ろ足^{うしろあし}には黒い縞模様^{くろいしまもよう}がある。
- 本州^{ほんしゅう}から持ち込まれた外来種^{がいらいしゆ}。

★ **レッドリスト掲載種**とは？

絶滅^{ぜつめつ}の危険度^{きけんど}を科学的^{かがくてき}・客観的^{きやくかんでき}に評価^{ひようか}してまとめた絶滅^{ぜつめつ}のおそれのある野生生物^{やせいせいぶつ}のリストのこと。



みず しひょうせいぶつ
水のきれいさと指標生物

しひょうせいぶついちらん
指標生物一覧

みず しひょうせいぶつ
きれいな水の指標生物

すいしつ かいきゅう
(水質階級 I)



カワゲラ類 (約20mm)

平たい体



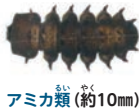
ヒラタカゲロウ類 (約10mm)



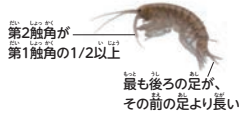
ナガレトビケラ類 (約10mm)



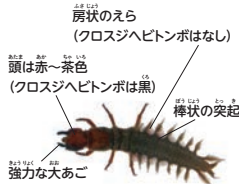
ヤマトビケラ類 (約8mm)



アマカ類 (約10mm)



ヨコエビ類 (約10mm)



ヘビトンボ (約40mm)



ブユ類 (約5mm)



サワガニ (約40mm)



ナミウズムシ (約10mm)

みず しひょうせいぶつ
ややきれいな水の指標生物

すいしつ かいきゅう
(水質階級 II)



コガタシマトビケラ類 (約10mm)



コオニヤマ (約35mm)



カワニナ類 (約30mm)



オオシマトビケラ (約20mm)



ヤマトシジミ (約20mm)



ヒラタドロムシ類 (約10mm)



イシマキガイ (約15mm)



ゲンジボタル (約20mm)



しゅってん かわ い しら かんきょうしや
出展：「川の生きものを調べよう」環境省ホームページ

URL : <https://water-pub.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/chosa/ikimono/files/slide0001.htm>



ぶつ
物

しやうたい かくかく
平たい触角

しやうたい たい
平たい体

あひら ぐちがひし形
鰓の口がひし形

みず しひようせいぶつ
きたない水の指標生物

すい しつ かいきゆう
(水質階級Ⅲ)



みず しひようせいぶつ
とてもきたない水の指標生物

すい しつ かいきゆう
(水質階級Ⅳ)

